

本城陸上競技場

（１）参加学校（チーム）の顧問（監督）の皆様へのご協力をお願い。

新型コロナウイルス感染症対策のため当分の間、以下の留意点の遵守にご協力をお願いします。

- ①参加選手の体調の把握をお願いします。少しでも体調の悪い選手は競技会への出場を辞退させていただきます。【大会前】新型コロナウイルス感染症についての体調管理チェックシート（福岡陸協作成別紙１）の作成と確認をしてください。学校受付時に参加者（選手・付き添い・補助員）全員分を提出してください。体調不良の選手が出た場合は、氏名を主催者にお知らせください。
- ②本大会は、福岡県内の中学校およそ２５０校が参加する大会です。したがって、皆様の協力がなければ密集を避けることができません。大会が定める感染症対策を厳守のもと参加してください。なお、新型コロナウイルス感染拡大のため「３年生保護者のみの観戦」で大会を実施します。１、２年生の保護者、その他の卒業生、陸上競技部以外の生徒が来場することがないようにしてください。当然ながら、練習会場や待機場所なども同様とします。競技会へ出場せず、補助員で参加する場合は例外とします。ご協力をお願いします。また、選手についても、できるだけ出場日に出場する選手のみ来場させていただきます。
- ③急遽、無観客での開催となった場合、保護者、家族、卒業生等の方の会場への来場はお控えいただくように連絡してください。選手の送迎についてはこの限りではありません。
- ④選手控所については、禁止場所を設定しますので、それ以外の場所で設置をお願いします。
- ⑤選手控所で休憩する場合は、ソーシャルディスタンスを確保するよう指導をお願いします。また、大声で会話等することのないよう指導をお願いします。
- ⑥ごみは各自で、各学校で必ず持ち帰ってください。
- ⑦競技会終了後、２週間以内に発熱などの症状があった場合には最寄りの保健所、医師会、診療所等に報告し、保健所、医師会、診療所等に相談後、チームの代表者に連絡し、チームの代表者が必ず大会総務（筑紫丘中学校：靱原 092-541-4831）に報告してください。その際に【大会後】新型コロナウイルス感染症についての体調管理チェックシート（福岡陸協作成別紙２）のコピーを提出してください。個人情報には、細心の注意を払ってください。
・居住地域の相談窓口や、帰国者・接触者相談センターに電話で相談する。

（２）参加者が競技を行う際の留意点

１）基本的注意事項

参加学校（チーム）の顧問（監督）の皆様から競技会の参加者に対し、以下の留意点や遵守すべき内容を周知・徹底を指導してください。

- ①招集所では他の選手とはソーシャルディスタンスを確保しマスクを着用して招集を受ける。
- ②唾や痰を吐く行為は行わない。
- ③タオルの共用はしない。タオルは各自で持参する。
- ④控所では、周囲の人とソーシャルディスタンスを確保する。大声で会話をしない。
- ⑤試合中などに選手が倒れた場合は直接触れることをせず、医務室や大会本部へ連絡する。ただし、緊急を要する場合は、その限りではない。

2) トラック競技

- ①レース中にマスクを着ける必要はないが、招集中・移動中・待機中は着用する。マスク着用による熱中症にも注意をする。
- ②レース終了後、手洗い・洗顔を徹底する。

3) フィールド競技

- ①待機場所における選手同士のソーシャルディスタンスを確保する。競技役員の指示で、通路などの利用を指示する場合もある。
- ②投てき器具については共用となるので、終了後の手洗い・洗顔を行う。また、競技中に不用意に手で顔を触らないよう注意する。
- ③助走練習、投てき練習時に並ぶときは、ソーシャルディスタンスを確保する。
- ④選手同士の会話は極力避け、待機中はマスクを着用する。

4) ウォーミングアップ会場の配慮事項

- ①ソーシャルディスタンス確保の工夫を行う。
- ②競技者自身のみでウォーミングアップを行う。(付き添いは付かない)
- ③ウォーミングアップ会場での観戦を禁止する。

(3) その他留意事項

1) 体調の確認

選手の体調管理のため、顧問(監督)の方が以下の書面を作成し持参する。学校受付時に提出する。

・【大会前】新型コロナウイルス感染症についての体調管理チェックシート(別紙1)

- ①氏名、年齢、住所、連絡先、所属名、保護者氏名
- ②イベント1週間前から当日の体温
- ③競技会前1週間前から当日の以下の事項の有無
 - ア のどの痛みがある
 - イ 咳(せき)が出る
 - ウ 痰(たん)がでたり、からんだりする
 - エ 鼻水(はなみず)、鼻づまりがある ※アレルギーを除く
 - オ 頭が痛い
 - カ 体のだるさなどがある
 - キ 発熱の症状がある
 - ク 息苦しさがある
 - ケ 味覚異常(味がしない)
 - コ 嗅覚異常(匂いがしない)
 - サ 平熱を超える発熱
 - シ 新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触(※別紙1に記載なし)
 - ス 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる(※別紙1に記載なし)
 - セ 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航または当該在住者との濃厚接触がある(※別紙1に記載なし)

2) マスク等の準備

学校（チーム）の競技会参加者がマスクを準備しているか確認する。参加者が、運動・スポーツを行っていない間、特に会話するときには、マスクの着用を指示する。（ただし熱中症対策にも考慮する。）

3) 競技会の参加前後の留意点

競技会に参加する学校は、競技会前後のミーティングなどで3つの密を避ける。会話時にマスクを着用するなどの感染対策に十分配慮する。

4) 手洗いの実施

競技会の間に手洗いをこまめに行うよう指導してください。

- ①手洗いは、30秒以上行う。石鹸は競技場にも準備するが、できるだけ各自で持参する。
- ②手洗い後、手をふくために各自でタオル等を準備する。タオル等を共用しない。
- ③手洗いが難しい場合は、アルコール等の手指消毒剤を用意する。競技場にも準備するが、できるだけ各自で持参する。
- ④フィールド競技に出場する競技者は、競技終了後手洗い、洗顔を実施させる。

5) 更衣室、休憩、待機スペースでの行動について

更衣室は利用できない。休憩、待機スペースは感染リスクが比較的高いと考えられることに留意する。そのため以下に 配慮して使用するよう指導してください。

- ①広さにゆとりを持たせ、他の参加者と密になることを避ける。
- ②ゆとりを持たせることが難しい場合は、一度にスペースに入らないよう指示する。
- ③室内又はスペース内で複数の参加者が触れると考えられる場所（ドアノブ、ロッカーの取手、テーブル、椅子等）を使用した場合は、こまめに手洗いをする。

6) 洗面所

洗面所（トイレ）も感染リスクが比較的高いと考えられることに留意する。そのため以下に配慮して使用するよう指導してください。

- ①トイレ内の複数の参加者が触れると考えられる場所（ドアノブ、水洗トイレのレバー）を使用した場合は、こまめに手洗いをする。
- ②トイレの便器の蓋を閉めて汚物を流すよう指示する。
- ③手洗いは、30秒以上行うよう指示をする。
- ④手洗い後、手をふくために個人でタオル等を準備するよう指示をする。

7) 観客の管理

- ①無観客や観客の人数制限を設けた大会実施となった場合、各学校（チーム）の顧問（監督）の方から、保護者、家族、選手以外の友人などの応援者は、陸上競技場への来場を自粛してもらうよう伝達する。本大会は、「3年保護者」のみ観戦が可能としているが、大会前の感染状況によっては、無観客となる場合がある。その際は、福岡陸協 HPにてお知らせする。
- ②集団での応援は禁止、また応援者同士の距離を2mほど開ける。大声をだして応援しない。また、タイム読みも禁止する。手拍子での応援は可。

8) ごみの廃棄

各チームが出したごみは持ち帰る。また、以下に配慮して回収を行う。

- ①鼻水、唾液などが付いたごみは、ビニール袋に入れ密閉する。

②ごみを回収する人は、手袋やマスクを着用する。回収が終わったら必ず石鹸と流水で手を洗う。

[施設における配慮事項]

(1) 施設入場時の配慮事項

- ①手指消毒剤の準備。(競技場管理者及び競技会主催者)
- ②ソーシャルディスタンス確保の呼びかけ。

(2) 施設利用上の配慮事項

- ①常時換気の実施(窓開け・戸開けの実施)
- ②諸室・招集所などの座席配置の工夫。(ソーシャルディスタンスを確保)
- ③直接の接触回避の工夫。
- ④多くの者が接触する可能性がある個所の清掃・消毒を通常よりも多く行う。(施設管理者の方への協力依頼)
- ⑤トイレの清潔化の徹底。(便座の蓋をしてから流す)
- ⑥ゴミ箱を撤去し、ゴミは各自持ち帰るように事前に周知する。また、アナウンスも行う。
- ⑦発熱者が出た場合の隔離用の部屋を確保する。

[報道取材者への協力事項]

- ①競技に関する取材のみ認める。
- ②大会総務(筑紫丘中学校：靱原092-541-4831)に取材の申請を必ず行う。その際、
【大会前】新型コロナウイルス感染症についての体調管理チェックシート(別紙1)を作成し提出すること。
- ③取材人数は、1社1名を基本とする。
- ④取材エリアについては、競技・審判に支障がなく安全なエリアで行う。審判の指示に必ず従う。
- ⑤会場内では、ソーシャルディスタンスを確保し、3密を防ぐ。
- ⑥取材中は、必ずマスクを着用する。また、ビブスを必ず着用する。
- ⑦選手・監督への取材は行わない。
- ⑧会場内では手洗いや咳エチケットなどの実施を心がける。

【参考】

○各校顧問の動き

①競技会前

- ・【大会前】新型コロナウイルス感染症についての体調管理チェックシート（別紙1）を主催者に、参加同意書（県中体連の様式）を学校に必ず提出すること

②競技会当日

- ・学校受付と審判受付を行う。

【当日】新型コロナウイルス感染症についての体調管理チェックシート（別紙1）を提出し、体調不良者がいないことを報告する。なお、**2日目に参加する選手についても大会前日までの体調を記載し、大会1日目に各学校でまとめて提出すること。大会当日の体調については、各学校の代表者（監督や顧問）が選手の体調を把握し、受付時に口頭で体調不良者がいないことを報告する。**

審判業務につく方で、審判員胸章を忘れた（持っていない）方は代わりに証明書を受け取る。**競技会終了時には返却する。**審判員胸章か代わりに証明書を持っている方は、競技場1階室内など立ち入り禁止区域に入ることができる。

体調管理チェックシート（別紙1）は**審判及び顧問も提出を行う。**

無観客や観客の人数制限を設けた大会実施となった場合、審判業務につかない顧問や引率責任者は引率責任者証（**各学校2名以内**）を受け取る。

- ・「競技会参加校（チーム）の顧問（監督）の皆様へ」が守られているか、確認を行い生徒などに適切な指示を出す。
- ・体調不良の選手が出た場合は、氏名を大会本部へ報告する。

③競技会后

- ・【大会後】新型コロナウイルス感染症についての体調管理チェックシート（別紙2）の作成
- ・競技会終了後、2週間以内に発熱などの症状があった場合には最寄りの保健所、医師会、診療所等に報告し、保健所、医師会、診療所等に相談後、チームの代表者に連絡し、チームの代表者が必ず必ず大会総務（筑紫丘中学校：榎原 092-541-4831）に報告する。その際に【大会後】新型コロナウイルス感染症についての体調管理チェックシート（別紙2）のコピーを提出する。個人情報には、細心の注意を払う。

○選手などの動き

①競技会前

- ・【大会前】新型コロナウイルス感染症についての体調管理チェックシート（別紙1）の作成

②競技会当日

- ・競技場1階室内など立ち入り禁止区域に入ることができない。更衣室も利用できない。
- ・競技場への出入りについて

招集終了後、100mスタート地点後方（第4ゲート）から入り、競技終了後も100mスタート地点後方から出る。

退場については競技終了後速やかに行うこととする。**選手は、本部役員室前（トラック側）を通行**

することができない。本部役員室後ろの通路は通ることができる。

- ・「県総体参加校確認事項」が守られているか、確認を行いながら競技会に参加する。

③競技会後

- ・【大会後】新型コロナウイルス感染症についての体調管理チェックシート（別紙2）の作成
- ・競技会終了後、2週間以内に発熱などの症状があった場合には最寄りの保健所、医師会、診療所等に報告し、保健所、医師会、診療所等に相談する。

○待機場所など

- ・メインスタンド 中央通路より上を待機場所とする。ただし、安全面からターフやテントを使用し
ての場所取りは禁止とする。また、写真判定に支障が出るため、ゴール地点と写真判定室を結ぶラ
イン上は場所取りを禁止する。（保護者は立ち入り禁止）
中央通路より下を観戦場所とする。ソーシャルディスタンスを確保する。（保護者は立ち入り禁止）
- ・バックスタンド中央から100mゴール付近までを保護者の観戦スペースとする。
- ・バックスタンド中央から100mスタート付近までを選手（学校）の待機スペースとする。
- ・サイドスタンド ターフ、テントなどを使ってよい。ただし、他校との間を2m以上取り、風など
で飛ばないようにする。下半分を観戦場所とする。ソーシャルディスタンスを確保する。
- ・バックスタンド ターフ、テントなどを使ってよい。ただし、他校との間を2m以上取り、風など
で飛ばないようにする。ソーシャルディスタンスを確保する。

○その他

- ・怪我などで医務室を利用する場合でテーピングが必要なときは、各校で準備する。テーピングの販
売は行わない。
- ・競技会中に発生した負傷・疾病については、応急処置等の措置は主催者において行うが、以後の責
任は負わない。